



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
 コード番号 3679 URL <http://zigexn.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 文
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部 部長 (氏名) 寺田 修輔 (TEL) 03 (6380) 2501
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,271	50.9	1,024	41.4	1,044	46.0	581	53.9
28年3月期第2四半期	2,168	88.4	724	42.6	715	40.9	377	25.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 577百万円(52.2%) 28年3月期第2四半期 379百万円(25.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第2四半期	11.15		10.78	
28年3月期第2四半期	7.30		7.04	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,182		5,569		54.6	
28年3月期	8,847		3,643		41.2	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 5,558百万円 28年3月期 3,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,600	31.2	2,050	27.4	2,038	27.2	1,150	28.0	22.06	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	52,891,200株	28年3月期	51,691,200株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	-株	28年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	52,100,490株	28年3月期2Q	51,691,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。四半期決算短信の開示時に
いて、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき
作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析は以下のとおりであります。なお、文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、国際情勢の緊迫化やグローバル経済の減速懸念等による影響を受けたものの、政府の経済・金融政策を背景に、為替や株価水準はおおむね安定して推移いたしました。また、雇用の増加や生産高の拡大など企業活動は引き続き活発に推移し、景況感全般としては緩やかな回復が継続いたしました。

当社グループの事業は、ライフメディアプラットフォーム事業とその他事業で構成されています。

主力であるライフメディアプラットフォーム事業においては、投下する資源の選択と集中を図って参りました。なお、注力分野である『求人領域』『不動産領域』『生活領域』の状況は以下のとおりです。

a. 求人領域

求人領域は、アルバイトEX、転職EX、看護師求人EX等の求人に関連するEXサイトと株式会社リジョブ(美容、リラクゼーション等の領域に特化した求人情報を提供するサイト『リジョブ』を運営)、株式会社ブレイン・ラボ(人材紹介会社向けの業務システム『キャリアプラス』を運営)から構成されています。当領域に係る外部環境は、構造的な人手不足感は依然として強く、求人広告市場規模が拡大しており、当社グループにとって力強い追い風でした。

EXサイトにおいては、前四半期に引き続き、情報を最適配信するためのアルゴリズム(協調フィルタリング)の導入が奏功し、CVR(コンバージョンレート)が上昇しました。また強固な収益力を後ろ盾とした投資加速により、UU数(ユニークユーザー数)が増加しました。

b. 不動産領域

不動産領域は、賃貸スモッカ、マイスマEX、住宅購入EX等の不動産に関連するEXサイトとエリアビジネスマーケティングプロジェクトから構成されています。当領域に係る外部環境は、緩やかな景況感の改善に伴って不動産賃貸市場が堅調に推移しています。

主力である賃貸スモッカにおいては、UI(ユーザーインターフェイス)の改善や販売促進策によりCVR(コンバージョンレート)が大きく上昇したことで、大幅に業績が伸長しました。また、平成28年4月にM&Aを実施したエリアビジネスマーケティングプロジェクトにおいては、ナレッジやリソースの共有化が進み、PMI(ポストマージャーインテグレーション)の進捗は順調です。

c. 生活領域

生活領域は、中古車EX、婚活EX、旅行EX等の生活に関連するEXサイトから構成されています。

当該領域においては、経営資源を最適に配分したことで、自動車EXを中心に大幅に業績が伸長しました。

その他事業においては、コンシューマ課金サービス、事業化を検討している新規事業を営んでおります。主力事業である株式会社にじげんにおいては、キュレーションメディアの強化等によってユーザー数が増加したことで、業績が伸長しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,271,871千円(前年同期比50.9%増)、売上総利益は2,966,232千円(前年同期比51.8%増)、営業利益は1,024,872千円(前年同期比41.4%増)、経常利益は1,044,134千円(前年同期比46.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は581,155千円(前年同期比53.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は10,182,856千円(前連結会計年度末比1,334,910千円増)となりました。

なお、流動資産は6,318,794千円(前連結会計年度末比1,340,133千円増)となりました。これは主に、第4回新株予約権の行使による払込みに伴い金銭の信託が1,336,720千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は3,849,989千円(前連結会計年度末比19,296千円減)となりました。これは、無形固定資産が196,927千円増加した一方、有形固定資産が13,085千円減少、投資その他の資産が203,138千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債総額は4,612,930千円(前連結会計年度末比591,916千円減)となりました。

これは、未払法人税等が136,912千円増加、販売促進引当金が80,620千円増加した一方、短期借入金が500,000千円減少、長期借入金が427,796千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、5,569,926千円(前連結会計年度末比1,926,826千円増)となりました。

これは主に、資本金が669,030千円増加、資本剰余金が669,030千円増加、利益剰余金が581,155千円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は3,971,012千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,039,621千円となりました。主な資金増加要因としては、売上高の伸張による税金等調整前四半期純利益の計上1,044,134千円によるものです。これに対して主な資金減少要因としては法人税等の支払額375,257千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1,447,687千円となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出258,307千円、金銭の信託の取得による支出1,336,720千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、393,719千円となりました。主な資金増加要因としては、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,316,913千円等によるものであります。これに対して主な資金減少要因としては借入金返済に伴う支出927,796千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成28年5月13日に公表しました内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,987,731	3,971,012
売掛金	910,512	879,030
金銭の信託	-	1,336,720
その他	96,572	161,327
貸倒引当金	△16,156	△29,296
流動資産合計	4,978,660	6,318,794
固定資産		
有形固定資産	102,984	89,899
無形固定資産		
のれん	3,070,412	3,225,179
その他	218,088	260,248
無形固定資産合計	3,288,500	3,485,428
投資その他の資産		
投資その他の資産	495,905	292,209
貸倒引当金	△18,105	△17,547
投資その他の資産合計	477,800	274,661
固定資産合計	3,869,285	3,849,989
繰延資産	-	14,073
資産合計	8,847,946	10,182,856
負債の部		
流動負債		
短期借入金	500,000	-
1年内返済予定の長期借入金	855,592	855,592
未払法人税等	364,714	501,627
賞与引当金	5,552	6,225
販売促進引当金	18,380	99,000
その他	876,224	1,012,053
流動負債合計	2,620,464	2,474,498
固定負債		
長期借入金	2,556,620	2,128,824
資産除去債務	27,762	9,607
固定負債合計	2,584,382	2,138,431
負債合計	5,204,846	4,612,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,366	1,200,396
資本剰余金	531,366	1,200,396
利益剰余金	2,574,462	3,155,618
株主資本合計	3,637,195	5,556,410
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,904	1,898
その他の包括利益累計額合計	5,904	1,898
新株予約権	-	11,618
純資産合計	3,643,099	5,569,926
負債純資産合計	8,847,946	10,182,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,168,538	3,271,871
売上原価	214,468	305,639
売上総利益	1,954,070	2,966,232
販売費及び一般管理費	1,229,078	1,941,359
営業利益	724,991	1,024,872
営業外収益		
受取利息	395	155
保険解約返戻金	-	9,088
違約金収入	356	9,345
その他	1,322	6,996
営業外収益合計	2,074	25,586
営業外費用		
支払利息	8,562	4,248
その他	3,482	2,075
営業外費用合計	12,045	6,324
経常利益	715,020	1,044,134
税金等調整前四半期純利益	715,020	1,044,134
法人税、住民税及び事業税	326,516	498,265
法人税等調整額	10,941	△35,286
法人税等合計	337,457	462,979
四半期純利益	377,563	581,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	377,563	581,155

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	377,563	581,155
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,590	△4,006
その他の包括利益合計	1,590	△4,006
四半期包括利益	379,154	577,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,154	577,148
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	715,020	1,044,134
減価償却費	28,798	49,047
のれん償却額	84,627	103,626
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26,050	12,423
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,240	△47
販売促進引当金の増減額(△は減少)	-	80,620
受取利息及び受取配当金	△395	△158
支払利息	8,562	4,248
保険解約返戻金	-	△9,088
売上債権の増減額(△は増加)	△25,142	44,210
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,142	△286
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△21,559	△20,302
長期前払費用の増減額(△は増加)	△1,003	1,627
仕入債務の増減額(△は減少)	16,011	△1,378
未払金の増減額(△は減少)	△16,838	15,025
その他の流動負債の増減額(△は減少)	8,821	94,574
その他の固定負債の増減額(△は減少)	9,602	-
その他	-	599
小計	805,656	1,418,878
利息及び配当金の受取額	395	158
利息の支払額	△8,562	△4,157
法人税等の支払額	△333,812	△375,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	463,676	1,039,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	-	349,986
有形固定資産の取得による支出	△33,276	△6,086
無形固定資産の取得による支出	△61,315	△72,399
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△258,307
保険積立金の解約による収入	-	9,088
敷金の回収による収入	15,254	-
敷金の差入による支出	△1,998	△133,249
金銭の信託の取得による支出	-	△1,336,720
その他	6,793	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,541	△1,447,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,086,000	△500,000
長期借入れによる収入	2,008,000	1,768,300
長期借入金の返済による支出	△164,996	△2,196,096
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	1,316,913
新株予約権の発行による収入	-	4,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242,996	393,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,471	△2,371
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	144,667	△16,719
現金及び現金同等物の期首残高	3,837,275	3,987,731
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,981,943	3,971,012

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

株主資本の著しい変動

当社は、平成28年7月27日から平成28年9月8日までの間に、野村証券株式会社から第4回新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が669,030千円、資本準備金が669,030千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,200,396千円、資本剰余金が1,200,396千円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ライフメディ アプラットフォーム ホーム事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	2,058,144	2,058,144	110,393	2,168,538	—	2,168,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	61,171	61,171	△61,171	—
計	2,058,144	2,058,144	171,565	2,229,710	△61,171	2,168,538
セグメント利益	715,076	715,076	9,915	724,991	—	724,991

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ライフメディ アプラットフォーム ホーム事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	3,127,486	3,127,486	144,385	3,271,871	—	3,271,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	55,723	55,723	△55,723	—
計	3,127,486	3,127,486	200,109	3,327,595	△55,723	3,271,871
セグメント利益	976,917	976,917	60,954	1,037,872	△13,000	1,024,872

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。